








看護の統合と実践② 医療安全



ムービータイトル	サムネイル	サマリー	教科書該当箇所
<p>「医療安全」編者からのビデオメッセージ (1分36秒)</p> <p>🔊</p>		<p>ナーシング・グラフィカ「医療安全」編者の松下由美子先生から、これから医療安全を学ぶみなさまへのメッセージ。</p>	<p>はじめに</p>
<p>医行為と看護行為 (4分9秒)</p> <p>🔊</p>		<p>医師の行うべき医行為と看護師の行う診療補助行為、看護師ができない診療補助行為などについて解説。</p>	<p>1章 医療安全と看護の理念 ■ 2 看護職の法的規定と医療安全 3 看護業務の変遷と安全管理</p>
<p>看護師の特定行為 (5分32秒)</p> <p>🔊</p>		<p>医師・歯科医師があらかじめ作成した「手順書」に基づき、看護師が行う「特定行為(診療の補助)」. その内容をだまかに説明する.</p>	<p>1章 医療安全と看護の理念 ■ 2 看護職の法的規定と医療安全 3 看護業務の変遷と安全管理</p>
<p>看護記録の開示と訂正 (6分30秒)</p> <p>🔊</p>		<p>個人情報保護法による看護記録の開示と訂正について、本当に開示される看護記録とはどのようなものかについて学ぶ.</p>	<p>2章 医療安全への取り組みと医療の質の評価 ■ 5 医療事故への対応 2 事故発生時</p>
<p>点滴静脈内注射 (6分16秒)</p> <p>🔊</p>		<p>点滴静脈内注射を実施する際の注意点と手順・方法について解説する.</p>	<p>5章 看護業務に関連する事故と安全対策 ■ 2 誤薬と与薬事故：分析と対策 2 注射事故の内容と要因分析</p>
<p>経口与薬 (4分44秒)</p> <p>🔊</p>		<p>経口与薬を実施する際の注意点とその方法について解説する.</p>	<p>5章 看護業務に関連する事故と安全対策 ■ 2 誤薬と与薬事故：分析と対策 4 種類と剤形、投与方法および管理</p>
<p>患者確認 (3分33秒)</p> <p>🔊</p>	<p>バーコードやネームバンドでしっかり名前を確認する</p>	<p>医療現場において、医療者による患者の取り違え事故が数多く発生している。外来および病棟で、患者を誤認しないためのポイントを解説する.</p>	<p>5章 看護業務に関連する事故と安全対策 ■ 3 患者取り違え(誤認)：分析と対策 2 対策</p>

ムービータイトル	サムネイル	サマリー	教科書該当箇所
針刺し事故防止 (1分25秒) 🗣️		針刺し事故は、血液感染を引き起こし、医療者に健康被害をもたらす。血液に触れる際のルールをしっかりと守り、医療事故から自分自身を守ることが大切である。	5章 看護業務に関連する事故と安全対策 ■4 針刺し：分析と対策 2 対策
転倒転落防止策① (1分40秒) 🗣️		「離床キャッチ」機能を備えたベッドは、患者が起き上がったリベッドから離れると、アラームで知らせてくれる。転倒転落などの危険行動をいち早く知ることができる新しいシステムである。	5章 看護業務に関連する事故と安全対策 ■5 転倒転落：分析と対策 2 対策
転倒転落防止策② (2分19秒) 🗣️		ベッドからの転落や立ち上がった際の転倒は、発生頻度の高い事故のひとつである。ベッドを使用する際や、患者さんに声をかける際の注意点を解説する。	5章 看護業務に関連する事故と安全対策 ■5 転倒転落：分析と対策 2 対策
呼吸と嚥下 (48秒) 🗣️		口腔から咽頭までの間は、呼吸のためのはたらきと摂食・嚥下のためのはたらきの両方の機能を有している。呼吸と嚥下、それぞれの動きを理解しよう。	5章 看護業務に関連する事故と安全対策 ■6 誤嚥：分析と対策 1 背景と養陰
医療事故対策適合品 (1分33秒) 🗣️		医療事故対策適合品マークと JIS マークについて解説。医療機器を正しく運用・操作・点検することの必要性も知っておきたい。	5章 看護業務に関連する事故と安全対策 ■9 医療機器のトラブル：分析と対策 1 背景と要因
アラームが鳴ったときの対処法 (2分1秒) 🗣️		アラームは、医療機器の異常を音によって医療者に教えてくれる。アラームが鳴ったとき、もっとも大切なことを解説する。	5章 看護業務に関連する事故と安全対策 ■9 医療機器のトラブル：分析と対策 2 対策
輸液ポンプ・シリンジポンプの取り扱い (5分45秒) 🗣️		輸液ポンプとシリンジポンプは、臨床現場で看護師が使用する頻度の高い医療機器である。今一度、使用手順を確認しておこう。	5章 看護業務に関連する事故と安全対策 ■9 医療機器のトラブル：分析と対策 2 対策

ムービータイトル	サムネイル	サマリー	教科書該当箇所
<p>住宅改修の一例 (6分25秒)</p> <p>🔊</p>		<p>在宅療養を継続させるには住環境の整備も重要な要素である。障害やライフスタイルに合わせた住宅の改修を行うことでQOLの改善を図ることができる。</p>	<p>6章 在宅看護における医療事故と安全対策</p> <p>■2 在宅看護における医療事故とその対応</p> <p>3 在宅看護における介護事故とその対応</p>
<p>高齢者の住環境整備 (3分20秒)</p> <p>🔊</p>		<p>高齢者の住環境の整備について、トイレや洗面所、浴室や台所、段差解消機や階段などを例に高齢者にとって使いやすい環境の整え方を紹介する。</p>	<p>6章 在宅看護における医療事故と安全対策</p> <p>■2 在宅看護における医療事故とその対応</p> <p>3 在宅看護における介護事故とその対応</p>
<p>介護ベッドでの事故防止 (2分15秒)</p> <p>🔊</p>		<p>介護ベッドの操作時に、患者が体の一部を挟み込んでしまう事故が多発している。介護ベッドを使用する際の注意点を理解しておこう。</p>	<p>6章 在宅看護における医療事故と安全対策</p> <p>■2 在宅看護における医療事故とその対応</p> <p>3 在宅看護における介護事故とその対応</p>
<p>福祉現場で働く看護職 (6分35秒)</p> <p>🔊</p>		<p>兵庫県宝塚市の財団法人や公立病院を例に、福祉の現場で働く看護職の、デイサービス業務や回診、家族との調整の様子を紹介する。</p>	<p>6章 在宅看護における医療事故と安全対策</p> <p>■3 在宅看護におけるリスク管理の現状と課題</p> <p>2 他職種との協働と今後の課題</p>
<p>感染症 ～冷静な対応のために (12分50秒)</p> <p>🔊</p>		<p>医療従事者である限り、感染症に罹患するリスクは避けて通れない。感染症法における感染症の分類と対策を確認するとともに、医療従事者が感染症とどう向き合うべきかを考えるべく、西アフリカのリベリアでエボラ出血熱患者の対応にあたった感染症の専門家、古宮伸洋医師（日本赤十字社和歌山医療センター）に話を聞いた。</p>	<p>7章 医療従事者の安全を脅かすリスクと対策</p> <p>3 職業感染に対する予防策</p> <p>2 標準予防策（スタンダードプリコーション）</p>
<p>手洗い (3分18秒)</p> <p>🔊</p>		<p>石けんによる手洗い、アルコール製剤による手指消毒の方法を解説する。</p>	<p>7章 医療従事者の安全を脅かすリスクと対策</p> <p>■3 職業感染に対する予防策</p> <p>2 標準予防策（スタンダードプリコーション）</p>
<p>滅菌手袋の着け方・外し方 (2分48秒)</p> <p>🔊</p>		<p>手袋の外側に触れないよう注意しながら装着し、両手を合わせて指先をフィットさせる。手袋を外す場合も外側に触れないようにして脱ぐ。</p>	<p>7章 医療従事者の安全を脅かすリスクと対策</p> <p>■3 職業感染に対する予防策</p> <p>2 標準予防策（スタンダードプリコーション）</p>

ムービータイトル	サムネイル	サマリー	教科書該当箇所
<p>感染性廃棄物の処理 (1分54秒)</p> <p>🔊</p>		<p>血液や体液、分泌物が付着したものは、すべて感染性廃棄物として処理しなければならない。赤・オレンジ・黄色のバイオハザードマークの意味を知っておこう。</p>	<p>7章 医療従事者の安全を脅かすリスクと対策</p> <p>■ 3 職業感染に対する予防策</p> <p>5 廃棄物の適切な取り扱い</p>
<p>ガウンテクニック (1分52秒)</p> <p>🔊</p>		<p>手袋と同様、着脱の際には、ガウンの外側に直接触れないように注意することが大切である。</p>	<p>7章 医療従事者の安全を脅かすリスクと対策</p> <p>■ 5 医療品への曝露</p> <p>1 抗がん薬の曝露</p>
<p>過失・予見と回避 (4分35秒)</p> <p>🔊</p>		<p>リスクマネジメントに法的な過失がどのように利用できるのかを解説。業務上過失致死・致傷を例に、過失と致死・致傷、因果関係と看護業務の関わりについて、また過失の構造について具体的な事例を挙げて解説する。</p>	<p>8章 看護学生の実習と安全</p> <p>■ 1 実習における事故の法的責任と補償</p> <p>1 法的責任</p>
<p>KYT の実際 ～事故予防のために～ (19分2秒)</p> <p>🔊</p>		<p>KYT（危険予知トレーニング）を実施する際のポイントと、その実際を通して、トレーニングの意義や目的、効果を紹介する。</p>	<p>8章 看護学生の実習と安全</p> <p>■ 2 実習中の事故予防および事故発生時の学生の対応</p> <p>2 実習に行く前に</p>
<p>実習前に知っておきたいチェックポイント (1分45秒)</p> <p>🔊</p>		<p>しっかり挨拶する。患者さんの情報は口外しないなど、看護師として最低限の心構えを解説。困ったときの対処法も。</p>	<p>8章 看護学生の実習と安全</p> <p>■ 2 実習中の事故予防および事故発生時の学生の対応</p> <p>3 安全に実習を進めるために</p>
<p>シミュレーション学習 (8分24秒)</p> <p>🔊</p>		<p>臨地実習で遭遇しやすい2種類のインシデント事例を用いて、シミュレーション学習に取り組む。実習中にメモを落とした事例と、車椅子からベッドへの移乗の際のインシデントの事例から、グループワークとフィードバックの例を提案する。</p>	<p>8章 看護学生の実習と安全</p> <p>■ 3 医療安全をどう学ぶのか</p> <p>1 学内での学び</p>